

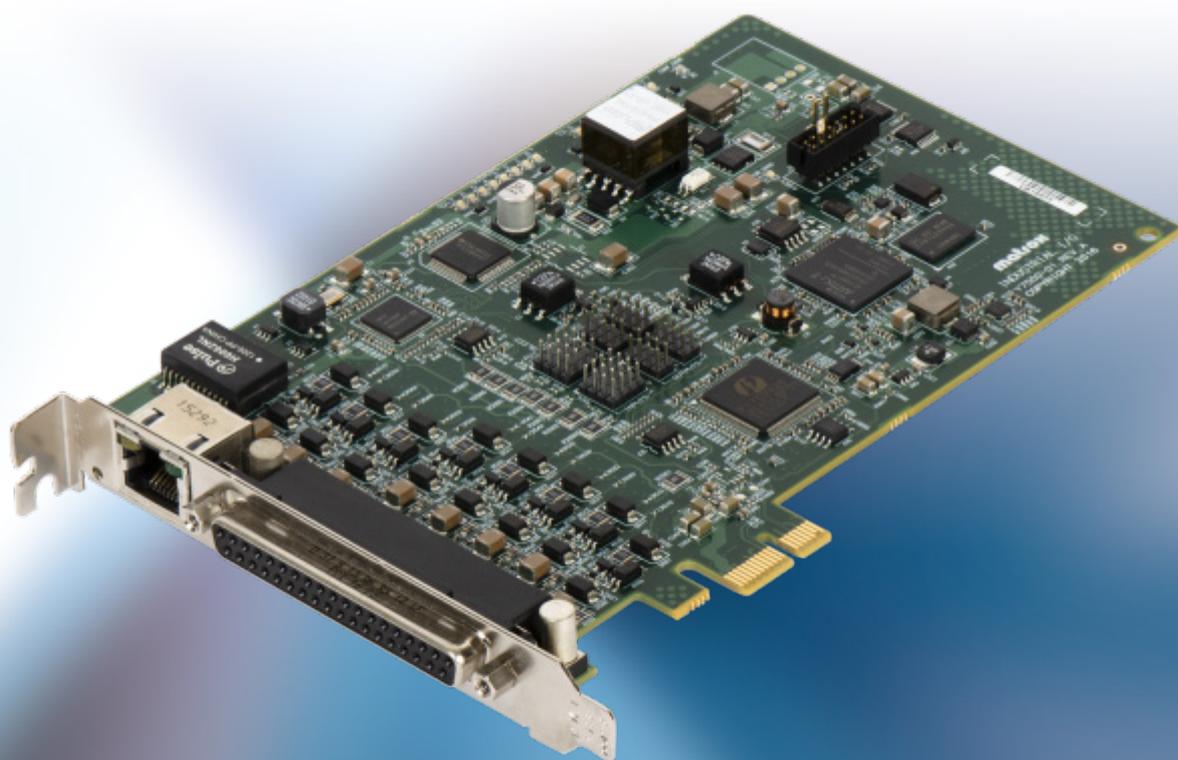
**Canon**

キヤノン ITソリューションズ株式会社

# Zebra Indio

ゼブラ インディオ

産業用I/O・通信カード



## 概要

### あらゆるPCをAurora Imagingビジョンコントローラに変える

Zebra Indioは、Aurora Imagingビジョンソフトウェアを実行しているPCをビジョンコントローラにするための産業用I/Oおよび通信機能を提供します。ハードウェアで管理される入出力を提供し、ビジョンアプリケーションとオートメーションデバイスのリアルタイム同期を実現します。また、Power-over-Ethernet(PoE)対応のプログラマブルロジックコントローラやオートメーションコントローラ、GigE Visionカメラと接続するためのギガビットイーサネット接続も提供します。

### 独立したI/O

Zebra Indioには、ジャンパにより選択可能な24VまたはTTLレベルの8点の入力と8点の出力が供えられています。I/Oは光学的に絶縁されており、出力もリセット可能なヒューズで保護されているため、意図しない使用による損傷を防ぐことができます。I/Oは、シンクまたはソース構成で接続でき、標準の37ピンD-Subコネクタからアクセスできます。

### リアルタイム同期

Zebra Indioは、専用のハードウェアサポートメカニズムを介してリアルタイムI/O管理を提供します。このメカニズムにより、経過時間または特定の入力イベントに基づいて、正確なタイミングで出力イベントを発生させることができます。入力イベントは、ロータリエンコーダなどの独立した入力から直接取得するか、入力から導出されるカウントから取得することもできます。プログラムされた出力イベントはハードウェアリストに格納され、クロックまたは入力イベントに基づいて検索されます。出力イベントを実行すると、特定の出力で状態遷移、パルス、またはパルス列が発生します。特定のイベントをカウントまたは生成するために、複数のカスケード接続可能なハードウェアタイマを使用できます。

### 産業用イーサネットまたはGigE Vision

Zebra Indioでは、EtherNet/IP、Modbus、およびPROFINETプロトコルを使用した産業用ネットワーク用の標準RJ45コネクタを介して、ギガビットイーサネットポートを利用できます。PROFINET通信は、ハードウェアを利用することでタイムリーな応答が保証されます。ギガビットイーサネットポートは、GigE Visionカメラに接続し、PoEサポートを介して電源を供給することもできます。

#### Zebra Indio の概要

PCIe x1インターフェースにより、コンピュータの統合が容易

16個のデジタルI/Oにより、リアルタイム同期を実現

標準D-Subコネクタを使用して、I/Oへ簡単にアクセス可能

24VおよびTTL互換信号により、工場などの現場とラボでの使用をサポート

光学的絶縁とリセット可能なヒューズにより、意図しない使用による損傷から保護

2台のインクリメンタルエンコーダをサポートし、移動する製造ラインを追跡

各I/OのステータスインジケータLEDにより、トラブルシューティングを支援

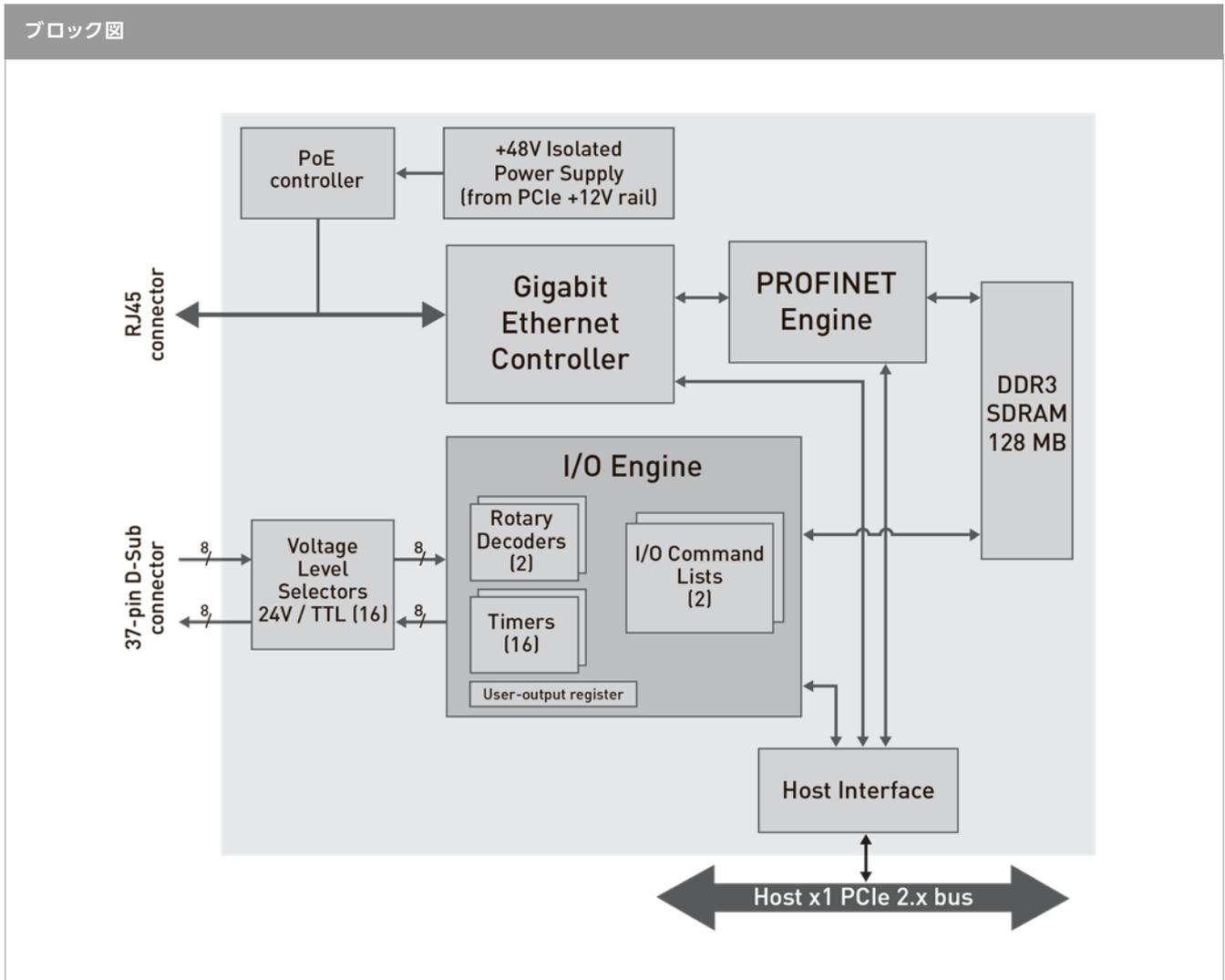
GigE Visionを使用した産業通信またはビデオキャプチャ用のギガビットイーサネットをサポート

ビジョンソフトウェアであるAurora Design Assistant(旧Matrox Design Assistant)と、Aurora Imaging Library(旧Matrox Imaging Library)で使用可能

# ソフトウェア環境

## ビジョンソフトウェアの対応

Aurora Design AssistantおよびAurora Imaging Libraryビジョンソフトウェアには、Zebra Indioのサポートが含まれています。このカードは、ソフトウェアの産業用通信機能とGigE Vision機能へのアクセスを自動的に提供します。



## 仕様

Zebra Indio	
ボード	
入力×8	
フォトカブラ	
24VまたはTTLのジャンパを選択可能	
Low Level	
0V~5V(標準)または0V~0.8V(TTLモード)	
High Level	
11V~24V(標準)または2V~5V(TTLモード)	
シンクまたはソース(最大100mA)	
インクリメンタルエンコーダに対応	
システム割込の生成	
ステータスインジケータLED	
出力×8	
フォトカブラ	
24VまたはTTLのジャンパを選択可能	
Low Level	
0V~3V(標準)または0V~0.1V(TTLモード)	
High Level	
最大24V(標準)または最大5V(TTLモード)	
シンクまたはソース(最大100mA)	
リセット可能なヒューズによる保護	
ステータスインジケータLED	
ギガビットイーサネットポート	
PROFINETプロトコルのハードウェアアシスト(1msのI/Oサイクルタイム)	
最大15.4Wの絶縁型PoEサポート	
コネクタ	
I/O用37ピンD-Sub	
ギガビットイーサネットポート用RJ45	
電源要件	
+3.3V@最大1.6A	
+12V@最大2A(PoE用に15.4Wを使用する場合)	
寸法(長さ × 幅 × 高さ)	
16.76×1.87×10.67cm (6.6×0.737×4.2インチ)	
認証	
FCC Part 15 Class B、CEマーク	
EN55011 Class B	
EN61326-1 Industrial Environment	
ICES-003/NMB-003 Class B	
RCM Class B	

## 仕様

Zebra Indio
動作環境
動作温度：0°C~55°C(32°F~131°F)
保管温度：-40°C~85°C(-40°F~185°F)
相対湿度：10%~90%(結露なきこと)

## 発注情報

型式	説明
ハードウェア	
INDIO	Zebra Indio PCIe x1カード(16点のリアルタイム独立デジタルI/O、PoE搭載のギガビットイーサネットポート)。Aurora Design AssistantおよびAurora Imaging Libraryの部分的なライセンス。
ソフトウェア	
INDIOに付属	Aurora Design Assistant/Aurora Imaging LibraryのInterfaceおよびIndustrial and Robot Communicationsランタイムパッケージのライセンスが付与されています。詳細については、Aurora Design AssistantおよびAurora Imaging Libraryのデータシートを参照してください。



製品情報 Web サイト

画像処理ソリューション

<https://www.canon-its.co.jp/solution/image/>



お気軽にお問い合わせください

<https://reg.canon-its.co.jp/public/application/add/473>



## Canon キヤノン IT ソリューションズ株式会社

東京：〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11  
大阪：〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-2-4

© Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.  
• Zebra は、米国 Zebra Technologies の商標です。  
• その他の製品および社名は、各社の登録商標または商標です。  
• 記載のコンテンツを無断で転載することを禁止します。  
• 情報は制作時点のものであり、予告なしに変更することがございます。

お求めは信用のある当社で

2024年1月現在

ZIND2401EMW-PDF